

平成26年3月26日

総務省九州管区行政評価局

(局長：杉山 茂)

# 国立公園における九州自然歩道の管理等に関する 行政評価・監視 〈調査結果に基づく所見表示〉

総務省九州管区行政評価局（局長：杉山 茂）は、九州に所在する国の行政機関等を対象に独自にテーマを設定して、現地的に改善の必要がある行政上の課題について、調査（行政評価・監視）を行い、改善を図っています（地域計画調査）。

この地域計画調査として、九州管区行政評価局及び佐賀・大分行政評価事務所は、平成25年12月から26年3月にかけて、国立公園における九州自然歩道について、九州地方環境事務所等による維持管理等の状況を調査しました。

この調査結果に基づき、平成26年3月26日、国立公園内の九州自然歩道を所管する環境省九州地方環境事務所に対して必要な改善措置を講ずるよう所見表示を行いました。

[本件照会先]

総務省九州管区行政評価局

第一部第3評価監視官室

担当：森永 一行

電話（代表）：092-431-7081

FAX：092-431-7085

Eメール：ksy13@soumu.go.jp

# 国立公園における九州自然歩道の管理等に関する行政評価・監視

## 調査の背景

- 九州自然歩道は、全国2番目に昭和50年度から整備が開始された長距離自然歩道。延長距離は2,932km。平成23年の利用者数は841万5千人
- 国立公園内の九州自然歩道の延長距離は478km（九州自然歩道延長距離の16%）
- 九州自然歩道については、整備開始から40年近く経過しており施設の老朽化が進行。また、近年の豪雨による歩道の崩落や倒木等のため歩行が困難となっているなどの状況あり

## 調査の概要

【目的】九州自然歩道利用者の安全確保、利便向上

### 【主な調査事項】

1. 九州自然歩道、標識等の維持管理
2. 利用者に対する情報提供の充実等
3. ビジターセンターの休憩・避難機能等の充実

### 【調査対象機関等】

環境省九州地方環境事務所

### 【関連調査等対象機関】

熊本県、大分県、鹿児島県

### 【調査対象九州自然歩道】

阿蘇くじゅう国立公園及び霧島錦江湾国立公園内の九州自然歩道

## 所見表示事項

1. 九州自然歩道、標識等の維持管理
  - 歩道、標識の計画的改善等
  - 巡視・点検の的確な実施
2. 利用者に対する情報提供の充実
  - 九州自然歩道ポータルサイト（ハイカーズマップ）及び地形図におけるルート of 正確な表示
  - ハイカーズマップにおけるルートの表示方法の統一など
  - 九州自然歩道ポータルサイトにおける「緊急情報」の提供充実
3. ビジターセンターにおける休憩・避難機能等の充実

平成26年3月26日

九州地方環境事務所に  
改善措置を講ずるよう  
通知

# 1 九州自然歩道、標識等の維持管理

## 調査結果

○阿蘇くじゅう、霧島錦江湾の2国立公園内の九州自然歩道304kmのうち、40kmを現地調査。この間の公共標識数は184本

### ○利用者の安全確保が不十分

- ⇒歩道が崩落しているもの（3事例）
- ⇒歩道の階段が破損しているもの等（12事例）
- ⇒歩道の分岐地点に案内標識が設置されていないもの等（25事例）
- ⇒柵（手すりなど）が破損しているもの等（5事例）

計 45事例

### ○利用者の利便確保が不十分

- ⇒歩道に障害物（有刺鉄線、門扉等）が設置されており通行が阻害されているもの（6事例）
- ⇒案内標識が倒壊している、表示が風化・劣化しているもの等（34事例）
- ⇒ベンチが破損しているもの（1事例）

計 41事例

### ○九州自然歩道の巡視・点検、把握箇所への対応が不十分

- ⇒少なくとも2年間、巡視を実施していないもの
- ⇒巡視・点検により把握した要補修箇所を補修していないもの

## 所見表示事項 (ポイント)

歩道、標識の計画的な改善等

巡視・点検等の確な実施

## 2 利用者に対する情報提供の充実等

### 調査結果

九州地方環境事務所は、平成24年6月以降、「九州自然歩道ポータルサイト」をWEB上で公開し、九州自然歩道のルートを周知する「ハイカーズマップ」や入山規制等の注意喚起を行うための「緊急情報」を掲載し、情報を提供

○九州自然歩道のルートの表示位置が「ハイカーズマップ」と「国土地理院の地形図」で異なっており、ルート誤認のおそれがあるもの

⇒九州自然歩道全体で26か所、うち国立公園内4か所

○「ハイカーズマップ」におけるルートの表示方法（道の種類及びルートを示す色）が九州各県で区々となっており、利用者の利便性への配慮が不十分

○九州自然歩道ポータルサイトの「緊急情報」について、土砂災害や崩落等で通行できないなど利用者に必要な情報が未掲載、また、噴火のおそれがある新燃岳の登山規制等の情報が未更新（最新情報が未掲載）

### 所見表示事項 (ポイント)

九州自然歩道ポータルサイト（ハイカーズマップ）及び地形図におけるルートの正確な表示

ハイカーズマップにおけるルート表示方法の統一など

九州自然歩道ポータルサイトにおける「緊急情報」の充実、最新情報の提供

### 3 ビジターセンターの休憩・避難機能等の充実

#### 調査結果

九州内に設置された、環境省が管理する7ビジターセンターのうち、雲仙お山の情報館、長者原ビジターセンター、えびのエコミュージアムセンターの3ビジターセンターを調査

#### 所見表示事項 (ポイント)

#### ○利用者の利便対策が不十分

<館内に休憩用スペース、スポット暖房なし>

⇒ えびのエコミュージアムセンター（標高1,200m）周辺の冬季の外気温は4.4度（平成26年1月平均）

#### ○災害時における避難対策が不十分

<非常用電源保有せず>

⇒ 長者原ビジターセンター  
えびのエコミュージアムセンター（山岳事故等の搜索拠点）

⇒ とともに登山者が避難可能な施設であるにもかかわらず、災害時に電気の供給が停止した場合、通信機器等が機能しないおそれ

ビジターセンターにおける休憩・避難機能等の充実

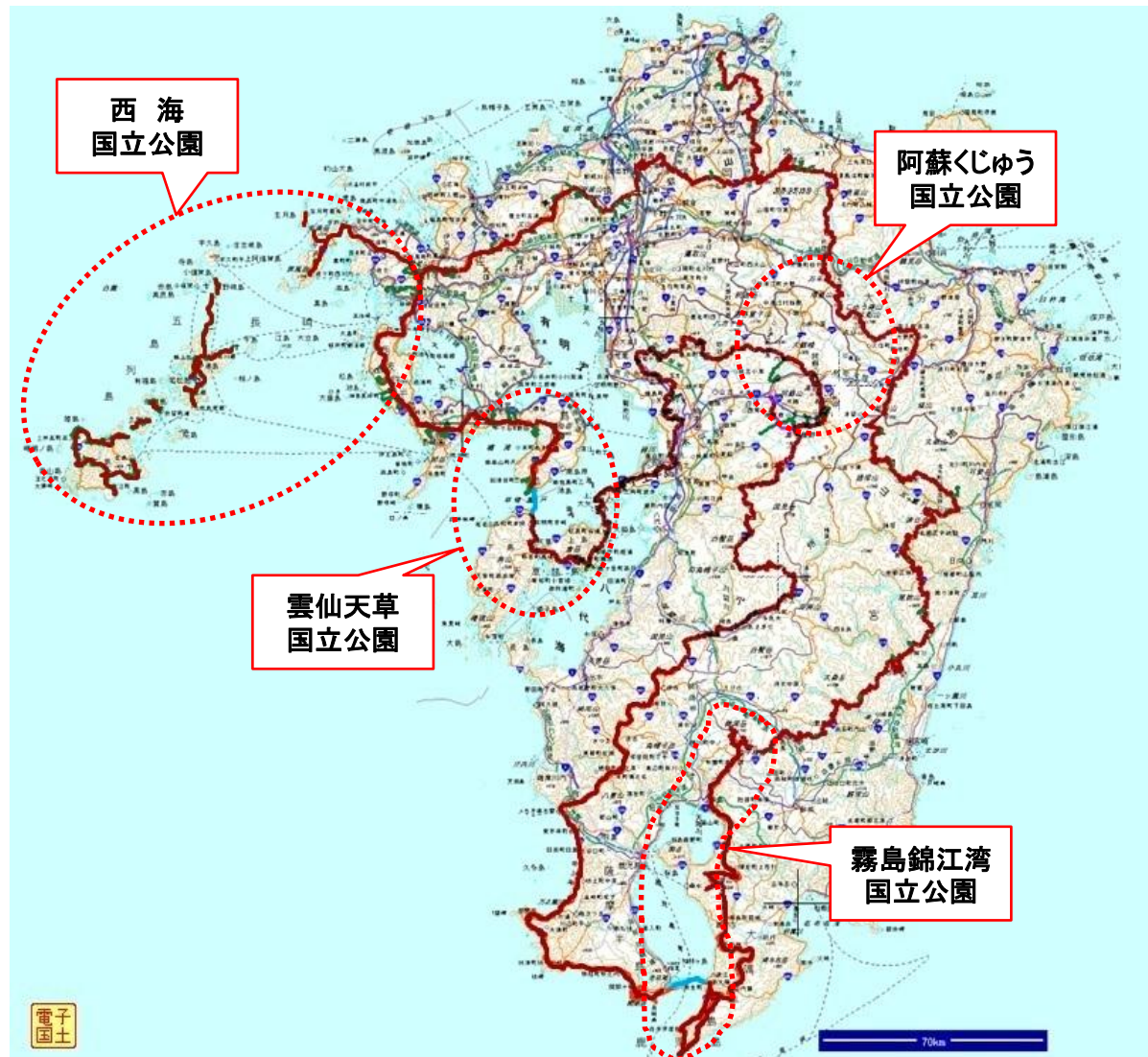
# 国立公園における九州自然歩道の管理等に関する 行政評価・監視

〈調査結果に基づく所見表示〉

## 参考資料（全体版）

平成 26年 3月 26日  
九州管区行政評価局

# 九州自然歩道(全体地図)





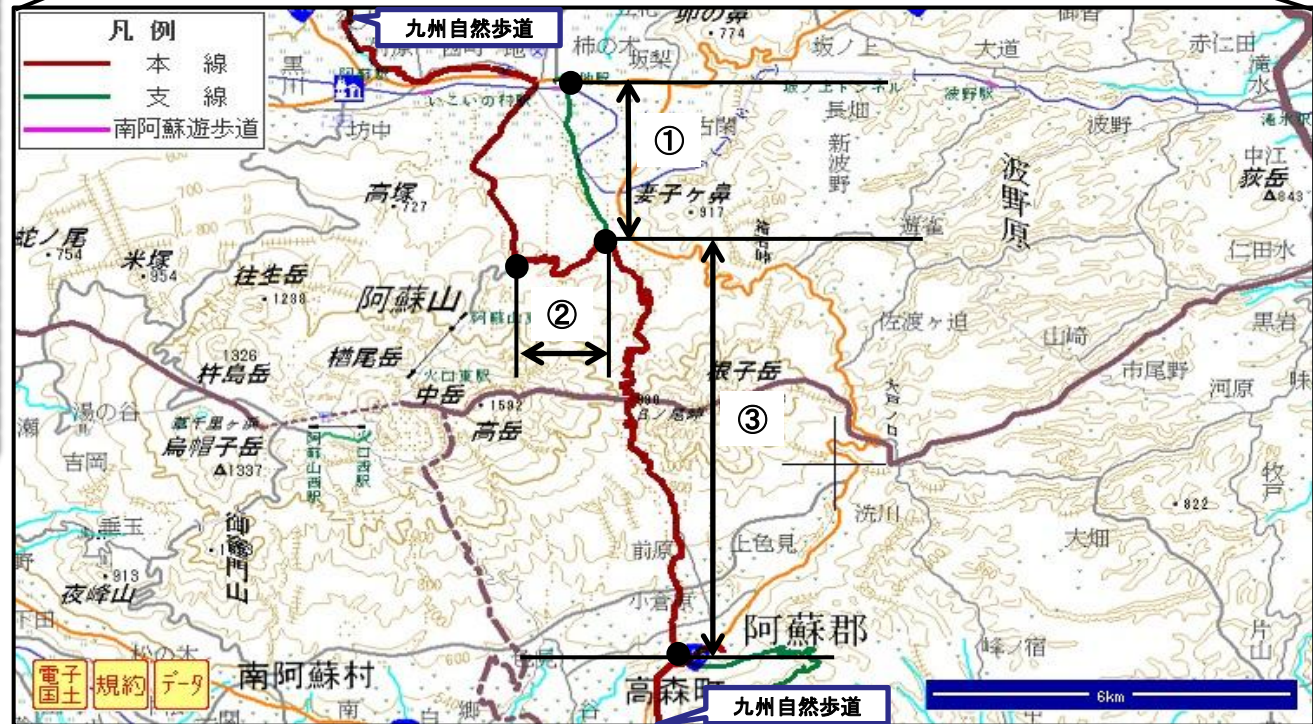
# 九州自然歩道現地調査区間（阿蘇地域）

九州自然歩道  
当局の調査区間

- ①宮地－桜ヶ水 3.5km
  - ②東小堀－桜ヶ水 2.5km
  - ③桜ヶ水－小倉原 11.4km
- ①～③熊本県執行区間(注)  
計 17.4km

公共標識 59本

(注) 熊本県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間





# 九州自然歩道現地調査区間(くじゅう地域)

九州自然歩道  
当局の調査区間

①長者原ー坊ガツル 4.315km

国執行区間(注)

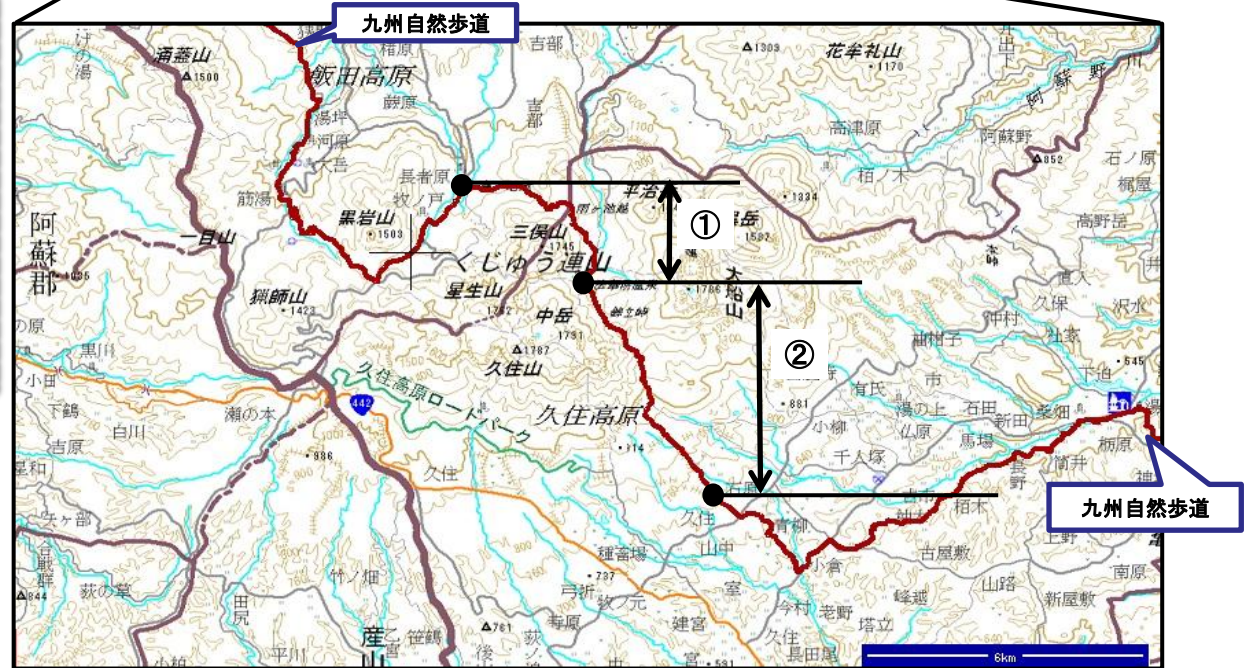
②坊ガツルー国立公園境 7.0km

大分県執行区間(注)

計 11.315km

公共標識 114本

(注) 国執行区間とは、環境省が歩道を整備し管理を行っている区間。大分県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間



# 九州自然歩道現地調査区間（霧島地域）

九州自然歩道  
当局の調査区間

①湯之野—新燃岳周辺 6.6km

未執行区間(注)

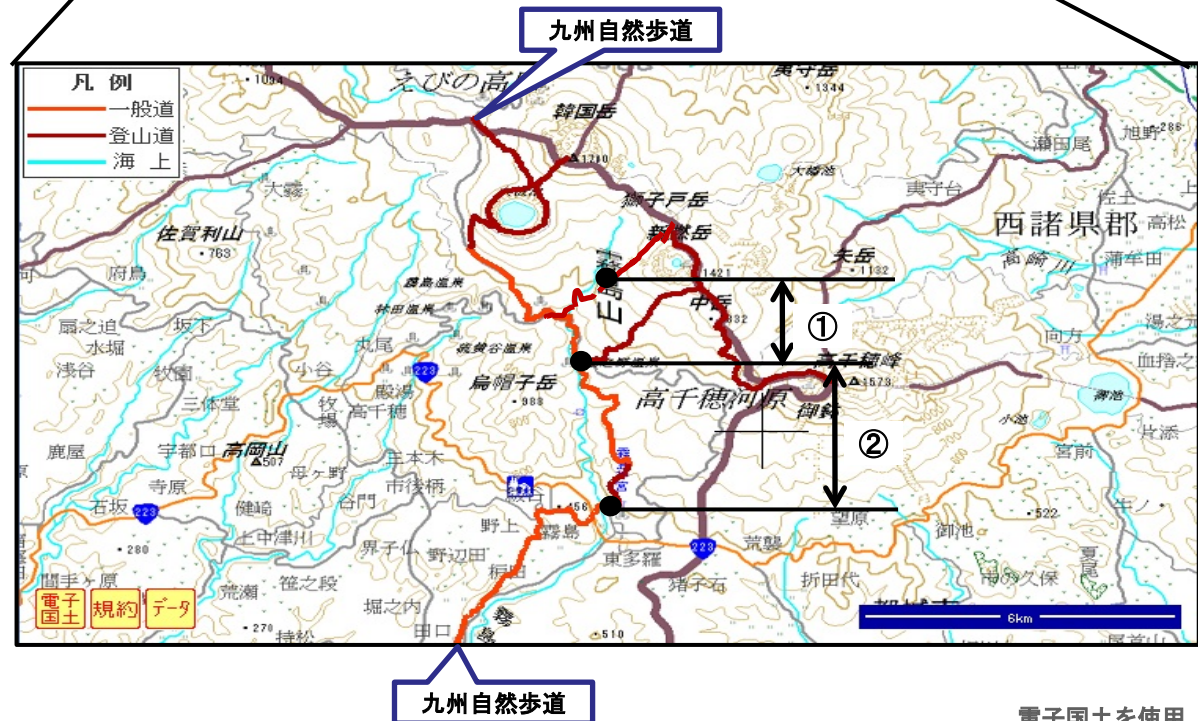
②湯之野—霧島神宮 4.9km

鹿児島県執行区間(注)

計 11.5km

公共標識 11本

(注) 未執行区間とは歩道の整備が行われていない区間。鹿児島県執行区間とは、県が整備し管理を行っている区間



電子国土を使用



# 九州自然歩道のルートが表示位置がハイカーズマップと国土地理院の地形図で異なっている事例

## ○ 阿蘇市西湯浦（元小屋）付近



## ○ 阿蘇郡高森町上色見前原前原谷付近



## 九州自然歩道ポータルサイトのトップページ

KYUSHU NATURE TRAIL

九州自然歩道ポータル

九州地方環境事務所 九州自然歩道ポータル

ハイカーズマップ | ハイカーズマップの使い方 | ニュース&トピックス | 緊急情報 | リンク

ハイカーズマップ

各県の九州自然歩道の情報を提供します。マップをクリックしてください。

ハイカーズマップ

- 福岡ハイカーズマップ
- 佐賀ハイカーズマップ
- 長崎ハイカーズマップ
- 熊本ハイカーズマップ
- 大分ハイカーズマップ
- 宮崎ハイカーズマップ
- 鹿児島ハイカーズマップ

緊急情報

- 霧島山(新燃岳)の火山周辺規制について(更新情報)

ニュース&トピックス

- ハイカーズマップ公開のお知らせ

お問い合わせ先  
九州地方環境事務所 国立公園・保全整備課  
TEL: 096-214-0336 Fax: 096-214-0350  
E-mail: KYUSHU\_TRAIL@env.go.jp(スパムメール防止のため@を○で表記します)

プライバシーポリシー | サイトマップ | ヘルプ

2012 九州地方環境事務所

<http://kyushu.env.go.jp/naturetrail/>



# 当局が指摘した主な事例

## ○ 歩道について、崩落等により利用者の通行が困難等となっているもの

熊本県執行区間



上方から  
撮影



下方から  
撮影

上下の写真は  
同一箇所。土  
砂の崩落によ  
り階段の杭が  
露出している。

上下の写真は  
同一箇所。赤  
の破線が九州  
自然歩道ルー  
トだが、歩道が  
崩落している。



下方から  
撮影



上方から  
撮影



# 当局が指摘した主な事例

## ○ 歩道について、倒木等により通行困難

熊本県執行  
区間



歩道が、長さ約10m、幅約4.5m、高さ約5mにわたって崩落した土砂、倒木等に覆われており、利用者の通行が困難となっている。

## ○ 歩道について、木橋、階段が破損

国執行区間



木製の橋に穴が空いている。ちなみに橋の下は崖となっている。

大分県執行  
区間



階段が傾いている。傾いている方向は崖となっている。



# 当局が指摘した主な事例

- 歩道について、障害物が設置されているなどにより通行に支障が生じており、利用者の利便確保が十分に図られていないもの

熊本県執行区間



九州自然歩道ルート上に放牧牛逃走防止用の有刺鉄線が張られているため、利用者は地面からの高さ約50cmの有刺鉄線をくぐって通行しなければならない。

大分県執行区間



九州自然歩道ルート上に門扉が設置されているため、利用者は門扉の横の隙間（20～30cm）をすり抜けて通行しなければならない。



# 当局が指摘した主な事例

- 歩道の分岐地点に案内標識が設置されていない、設置場所が不適切などにより、利用者の安全確保が十分に図られていないもの

## 国執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



## 大分県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



## 熊本県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が進行する場合、青の矢印の方向に進むおそれがある。



## 鹿児島県執行区間

赤の破線が九州自然歩道ルート。利用者が奥まった位置にある案内標識を見落とし、青の矢印の方向に進むおそれがある。





# 当局が指摘した主な事例

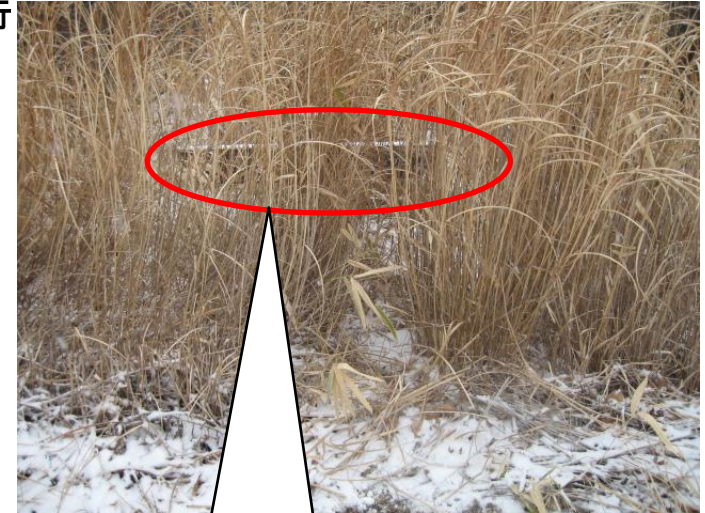
- 公共標識について、倒壊、記載されている文字の判読が困難などにより、利用者の利便確保が十分に図られていないもの

## 国執行区間

案内標識に「←0.5 km長者原・雨が池 2.4km→」と表示されているものの、風化・劣化により、見えにくい。



## 大分県執行区間



案内標識が草に覆われており、利用者が気付きにくい。

## 熊本県執行区間

種別不明の公共標識が倒壊している。





# 当局が指摘した主な事例

- 柵（手すり等）が破損しているなどにより、利用者の安全確保が十分に図られていないもの

熊本県執行区間



急な階段に設置された柵が壊れている。

大分県執行区間



柵の支柱が傾き、柵に張られたロープも緩んでいる。周辺には柵外が崖となっている箇所もある。